事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	12人	2人	人	15人

前回の改善計画
毎日のミーティングや職員会議を活用したり、伝達簿を確実に見るようにして利用者の情報交換を密にしていく。 どの職員も家族との信頼関係を早く築けるよう、それによって情報共有をし易くする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・迎え時、家族から得た情報などは、昼のミーティングで情報共有し伝達簿に記入するようにしている。得た情報などは、日報や介護記録に記載し情報交換が密にできるようにしている。 ・面会に来た家族や送迎時の家族の対応について、どの職員も対応ができるようにしているため、職員との信頼関係も少しずつだが築けてきている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1人	12人	2人	人	15人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		12人	3人	人	15人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1人	11人	3人	人	15人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		10人	5人	人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初期訪問時には必ず家族や本人に不安なことがあれば聞くようにしている。又、必要なサービスが受けやすい様他事業所への連携（福祉用具・住宅改修・他施設への紹介や調整）にも努めている。 連絡ノートを活用し家族からの情報に対し毎日行うミーティーングで話し合い、日中の過ごし方を細かく記入し家族との情報共有に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・休み明けで出勤した際、慌てて業務に入った時などに伝達簿や介護記録の見忘れがある。 ・家族からの情報等を、伝達簿に書き忘れて口頭伝達している時などがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・ 毎日、時間に余裕をもって出勤するようにしていくが、慌てて業務に入る職員には、申し送りやミーティング等で再度、確認をしていくようにする。 ・家族から得てきた情報は口頭伝達をせず必ず伝達簿や介護記録に記入するようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）
２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	10人	5人	人	15人

前回の改善計画
日々の利用者をよく観察し本人の思いを推し測る。 過去の生活歴などの事前情報、家族からの情報等からも本人の思いを探る努力をする。（センター方式の活用）
前回の改善計画に対する取組み結果
・開設当初は、職員数が少なく利用者に関わる時間が少なかったが、職員数については、利用者に関われるくらいに改善されてきているため、その関わりの中から直接利用者から話を聞いたり、又、送迎時に家族との会話の中から、情報を得ている。 ・家族や利用者から得た情報をセンター方式を活用することにより、本人の思いを探る努力をしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	人	6人	8人	1人	15人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	人	10人	4人	1人	15人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	人	5人	9人	1人	15人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	人	10人	4人	1人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々、本人との会話の中より訴えを聞き取り、本人にとってどのような生活が良いのか、家族の意向も聞き、両方を踏まえ上手くバランスが取れるように調整をしている。又、朝の送迎時の家族の会話等やこれまでの生活歴、サービスの利用経過を下にしミーティング等で話し合いをし取り組んでいる。 認知症の利用者には、一緒に行動したり言葉等を聞き取ったりし、職員間で何を思っているのか話し合いながら対応をしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・重度の認知症の方は、「～したい」という訴えなどを伝える利用者が少なくセンター方式での情報が不足している。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・センター方式を活用しており、職員を各利用者に割り当てて担当制にし細かい情報収集をしていく。 ・訴えの少ない利用者については、家族からの情報を得たり、職員からの言葉かけにより意向を聞き出すようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）

３．　日常生活の支援	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	6人	8人	1人	15人

前回の改善計画
重度の認知症の為、本人からの情報が得られにくいので、家族からしっかり話を聞く。 生まれた場所・家族・子供・仕事・趣味・友人・地域活動・好きな食べ物・嫌いな食べ物・今まで行った旅行等のフォーマットを作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
・センター方式を取り入れていくことで、少しずつだが細かい情報を知ることができている。 ・送迎時で家族から得た情報や本人から得た情報は職員全員で共有している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1人	8人	6人	15人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		14人	1人		15人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		10人	4人	1人	15人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	13人	1人		15人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		10人	5人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
排泄は排泄チェック表を使用しており排泄パターンを把握しトイレで排泄ができるようにしている。入浴は本人の希望（午前・午後）を聞くようにし入浴したがらない利用者には曜日を変えたりし無理強いをしないようにしている。入浴排泄の声掛けには自尊心に配慮している。体調変化や状態変化があった時は、必ず介護記録に記入したりミーティングで話し合ったりし当日休みの職員にも伝達出来る様、伝達簿への記入や日報へも記入をしている。 認知症の利用者には、一緒に行動したり言葉等を聞き取ったりし、職員間で何を思っているのか話し合いながら対応をしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症の利用者には会話しても情報が限られてしまう為、概ねの生活環境の把握はできているが、10個以上の把握については、職員の細かい部分の情報収集ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・重度の認知症の為、本人からの情報が得られにくいので、家族からしっかり話を聞き、情報収集していく。 ・センター方式を継続活用していき、利用者の担当制を取り入れることにより細かな情報収集をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）

４．　地域での暮らしの支援	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	6人	7人	2人	15人

前回の改善計画
地域の清掃活動を継続するなど、地域との関わり方を増やしていく中で活用できる地域資源の把握をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域の清掃活動を継続していく中で、自然に挨拶やねぎらいの言葉かけをいただくことができている。 ・施設で実施した秋祭りには、回覧板を活用し参加を呼びかけることで参加してもらうことができている。 ・地域密着委員会の活動をすることでイベントや勉強会などの計画を立てている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6人	8人	1人	15人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	人	7人	6人	2人	15人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3人	9人	3人	15人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1人	6人	8人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
回想法を用い、談笑しながら利用者の好みや生活歴を理解するようにしている。利用日でない日の過ごし方や状態等、送迎時に家族から話を聞くようにしている。利用前からのかかりつけ医への受診など、関係が継続出来る様、受診介助にて対応している。地域のボランティア等を取り入れ行事を行い、又、施設で行われるイベント等への参加の呼びかけをしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・実際、近隣地域における行事や活動などが少ないため、行事における地域住民との交流は少ない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・地域の清掃活動を継続するなど、地域との関わり方を増やしていく中で活用できる地域資源の把握をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	6人	2人	15人

前回の改善計画
地域の清掃活動を継続していき、地域との関わり方を増やしていき地域資源の把握をしていく。又、個々のニーズに合った社会資源の活用を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域密着委員会の活動として、地域との関わりを増やす為に（11/23）認知症の勉強会の実施を計画している。 ・正月には金比羅神社へ参拝、下関園芸センターや、ゆめシティーへ買い物・外出を実施している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		2人	8人	5人	15人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3人	11人	1人	人	15人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2人	13人	人	人	15人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人	12人	1人	人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者及び家族の意向を十分に取り入れ、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを取り入れており、又、緊急時にも対応を行っている。日々、気付いた変化は記録の残したり、ミーティングにて話し合いをしている。 状態の変化に異常があれば、家族と連携を取り早期帰宅や病院受診等早急に対応をしている。 又、帰宅後においても状態の把握に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・実際、自治会の活動がない為、地域に出向く活動はなく事業所内の活動が主になっている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・地域の清掃活動を継続していき、地域となじみの関係を深めていけるようにする。 ・地域資源を活用するために、外出行事を計画していく。 ・家族会や茶話会の実施を計画していき、交流の場を広げ横の繋がりを作っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）

６．　連携・協働	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	8人	2人	15人

前回の改善計画
地域の清掃活動の継続や複合施設を活かした施設内行事を通して、自治会等の住民との関わりを増やし、顔の見える関係作りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
・施設の行事（秋祭り）に地域住民の参加があった。 ・地域密着委員会の活動により地域住民との関わりを増やしている。 ・ボランティアで音楽演奏や子供たちの参加があった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	人	5人	7人	3人	15人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	人	5人	6人	4人	15人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2人	6人	7人	15人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	人	1人	6人	8人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
医療機関や福祉用具の使用等は家族の要望を聞き、又、プラン作成時以外にもこまめに調整をしている。 地域包括支援センターの職員や地域の方参加している運営推進会議において、利用者状況やイベント・会議の実施状況を報告したり情報交換を行っている。地域の方による琴の演奏・夕焼け楽団などのボランティアや夏祭りを開催することによって地域の住民の参加が多くなっている。ボランティア活動では子供たちの参加もある。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の活動やイベントがほとんどないので参加の機会もない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
地域の清掃活動の継続や複合施設を活かした施設内行事を通して、自治会等の住民との関わりを増やし、顔の見える関係作りを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）

7．　運営	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	5人	3人	15人

前回の改善計画
清掃活動の継続による住民へのアピール。施設内行事への住民参加の声掛けを行う。 先々は一緒にできる行事を企画したい。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域住民には回覧板で施設のことを少しずつ知ってもらっている。 ・清掃活動を通して、「ご苦労様」「お疲れ様」等、近隣住民との会話ができ関係作りが少しずつだができている。 ・認知症の勉強会を地域住民と行うことにしている。（11/23）

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		9人	4人	2人	15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		9人	5人	1人	15人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	2人	6人	5人	15人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		3人	7人	5人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所のあり方については、職員会議を利用し意見があれば、対応を考え実施している。家族からの意見等があれば職員間で話し合いをしているが、内容によっては施設長などの意見を聞いて対応をしている。地域からの苦情に関しては複合施設の為、施設長に対応をお願いしている。又、運営推進会議で地域の方から提案された災害時の避難場所として提供することになっている。事業所から徘徊時の連絡体制や避難訓練時の協力体制を地域の方にお願いをしている。 ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅小規模通信を毎月発行し家族や運営推進会議で報告し意見をもらえるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・清掃活動を毎月行っているが、回覧板の活用ができていない為に、地域の人に複合施設であるﾌﾛｲﾃﾞ金比羅のしくみを理解してもらえるような活動ができていない。 ・地域との協働した取り組みがない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・清掃活動の継続による住へアピールしていきなじみの関係を築いていく。 ・施設内行事を回覧板等で知ってもらい、自由に住民参加ができるようにしていく。 ・先々は一緒にできる行事を企画できるようにしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）

８．　質を向上するための取組み	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	6人	2人	15人

前回の改善計画
資格取得やスキルアップ研修の参加ができるようにしていく。 ゆとりのある人員体制の確保。
前回の改善計画に対する取組み結果
・毎月行われている職員会議後の勉強会には、職員自ら講師となり実施することができている。 ・研修参加の希望があれば、可能な限り調整をし実施している。H27年度は介護職員実務者研修に参加ができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	12人	2人	人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	6人	6人	2人	15人
③	地域連絡会に参加していますか		2人	2人	11人	15人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		8人	5人	2人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月、職員会議後に職員持ち回りの講師を設定し勉強会を実施している。リスクマネジメントの考え方やプロセスを理解しケース演習を通し実践に行かせるようにしている。スキルアップ研修等は案内を回覧しいつでも参加ができるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・参加の声掛けは行うが、職員数が不足していて勤務体制に影響があるのではと、お互いに気を使いスキルアップの研修参加には消極的になっている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・積極的に研修参加ができるような職員体制を築いていく。 ・職員のスキルアップになる研修には、職員の個々の能力に合った研修を勧めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　28年　10月　26日（　18：　00～　19：　00）
９．　人権・プライバシー	メンバー	中堀詔子・山本智恵子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・張光利治・福田菊美 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	7人	6人	2人	人	15人

前回の改善計画
全職員が周知できるよう勉強会を定期的に実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・人権、プライバシーの勉強会を通して職員自身振り返りをしミーティング等で話し合いを行っている。 ・個人的に利用者に対し、今から行うことを説明し同意を得てから行動をするようにしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12人	2人	1人	人	15人
②	虐待は行われていない	13人	2人		人	15人
③	プライバシーが守られている	5人	9人	1人	人	15人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	5人	3人	6人	15人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	10人	1人	人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
原則的に身体拘束を行わない旨を重要事項説明書にも記載してある。勉強会を実施し職員への周知を図っている。 職員の行動や言動が虐待になっていないか、マニュアルに沿って勉強会をしている。又、利用時には全身観察を行っていてミーティング等で報告をしあっている。 本人の気持ちを大切にしてプライドへの配慮をした声掛けをしている。又、自己決定しやすい言葉かけをしている。 成年後見人制度を活用している利用者はいる為、後見人との連携を取っている。 写真撮影や情報の公表等は家族や本人に同意を得て行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・定期的な勉強会は行われているが、ついつい馴れ合いになってしまい利用者に対しての言葉遣いが友達言葉になっていたり、尊厳を軽視している所がみられる。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・人権、プライバシーについて具体的に継続して学んでいき、特に言葉かけや対応の仕方については、勉強会の時や職員会議の時などに振り返る為に、標語を読むようにしていく。	